

## 中川村議会だより第 116 号アンケート結果

### 1 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

○写真を多くして紙面を見やすくしているかもしれませんが、写真で紙面を稼いでいる、埋めているという印象を受けます。

今号はグリーンセンターなかがわの写真が3枚も使われていますがこんなに必要でしょうか。中川東小やいわゆり荘、保健センターの玄関写真も必要なのか疑問です。写真スペースの分をもっと文字で説明してください。CATVで見る質疑内容が議会だよりではあまりにも要約されているように感じます。

2～3 ページの本年度当初予算の記事についてですが、広報なかがわ4月号の記事とほとんど重複しています。全く同じ円グラフと写真で紙面を稼ぐのではなく、議会だよりに載せるべきことは、定例議会においてどのような審議をしたのかではないでしょうか。

4 ページの「キューピクル」って何ですか？「キュービクル」ならば高圧受電設備のことを指すようですが、ひょっとして「エコキュート」のまちがいではないかとも思ったりしました。

1 表紙の卒園園児の写真ですが、写っている子、写っていない子、顔が半分隠れている子、…さまざまです。少人数の状況下で不公平感が生じないか気になります。

11 ページの大見出し「見えない子供の声を聴いているか」が小見出しでもまた「見えない子供の声を聴いているか」と使われています。あまりに稚拙な紙面だと感じます。そもそもこのような大見出しの紙面構成って必要ないのではないのでしょうか。

18 ページ「人村の人口の…」は「村民の人口の…」の誤りでしょうか？また「定住者は 232」となっていますがちゃんと「232 人」と表記したほうが良いと思います。

○表紙：時節感のある写真ではあるが、毎年この時期はこれと同じような構図になってしまっているように思います。構図がかぶらないようなインパクトある表紙に期待したい。

表紙面にある見出しの表現も毎回同じような標記のように感じ興味を持って読んでみたいと思えません。やはりインパクトを持たせていただきたいと感じます。今月号は、議員の公約、要約が載っておりましたが、毎回なにかしらの身近で議会を感じられる特集があればと思いました。

○表紙：新年度を感じさせる子供達の様子がとても微笑ましいと思いました。一点、写真の目つぶりが少々気になりました。たとえば村の広報の方と連携して写真データを借りるなどは、難しいのでしょうか。

見出し：見出しとは各議員からの質問と回答に当たる部分との理解で書きますが、いずれもおおむねわかりやすくまとまっていると思います。一点、以前から、と

きどき提言や質問ではない見出しがありますが、できるかぎり「何を伝えたいか」を中心とした見出しがわかりやすいかと思いました。たとえば今回の松澤議員の質問も、本文を読むと「過去の災害の学びを生かした災害対策や、地域と消防団の災害情報連携をすべきでは」など、具体的な提言を見出しに入れることができそうです。

紙面構成：わかりやすい構成かと思います。

○予算特別委員会監査報告について、恐らく質疑のやりとりを簡潔にまとめてくださったと思うのですが、簡潔になりすぎて何をいっているのかわからないと思う部分がありました。例えば、建設水道課国土調査係の部分などです。何の情報なのでしょう？紙面の都合もあるのかも知れませんが、一つ一つの単語について、括弧などで易しく解説を入れたほうが、広く議会について関心を持ってもらえる近道であると感じました。編集者に、短い文書でまとめる力量があるのかもしれませんが、意味が分からないと逆に頭が悪く思えます。マネキンさんて誰？そんなところの解説も欲しいところです。

○表紙の2つの保育園の卒園式の写真・園児達の緊張感もありながら前を向いて人の話を聞く姿勢が伝わって良いと思います。

○表紙：卒園する子供の写真は良いが、どちらがみなかた・片桐か判らない人いるので、差し込みを入れてはどうか。

新年度予算：グラフや分野毎の支出予定はわかるが、予算、規模の大きな科目はそれなりに重点施策と思うので、どこにラインを引くかは判らないが、太字で表示しても良いと思う。

紙面構成：「JA 長期構想・3 ヶ年計画」の再考を求める決議は、今後の中川村の農業を考えたとき農業協同組合の原点にもどって真剣に考えるべきで、この位置に持ってきたのは正解です。

16 ページからの議員各位の公約の掲載は、改めて襟を正すことになり、良い企画でした。

○表紙について、可愛らしい写真で癒されます。春が来るのだなと感じる。

P2、3について、予算のページですが、円グラフと写真が大きく見やすい。しかし、その分文字数が減り、予算の使途で分かりにくいものがあり（ICT 環境整備事業2860万円、シンクライアントサーバー購入4347万円等）「何故この事業にこれだけの予算を掛けるのか」が見えにくいと感じました。もう少し説明があっても良いのではと思いました。

一般質問では議員さんそれぞれの考えがよく分かり、まとまっていると思うが、質疑の内容が省略されているのか、一部文章が理解できないところがあった。もう少し見出しを小さくして、内容の充実をしても良いのでは。

JA 長期構想再考を求める決議案の可決のページのように、重要なトピックに焦点を当てていくことは大事だと思う。多くの人が考えることでより理解が深まり、妙案が出ると良いなと感じます。

無投票だった中で、議員公約の要約は、改めて議員さんたちの考えが分かって良かった。

全体として充実した内容で、読み応えがあり良いと思いました。

- 前から思っていたのですが「中川村議会だより」と「広報なかがわ」の表紙や見出しなどがよく似ていると思います。今月号はぱっと見「広報なかがわ」と思いました。

消防団に関する記述が目につき消防団のことを色々思いました。私は都市部からの移住者なので、消防団に対して肯定的な意見を持っていますが、よく分かっていない部分が多いです。

2019年度予算可決のページに議員が二人だけ掲載されていたが、全員の意見を見たかった。

- 今まで議会だよりは表紙や紙面の写真を見る程度で読むことはほとんどありませんでした。今号に「JA 長期構想・3ヶ年計画」について載っていますが、村内ではどう集約される予定で、どう変わるのか、どの様な弊害が実際に考えられるかが解りません。他の紙面にも言えることですが、イラストや図を使って解りやすく目を止める構成にしていただければ読まれる方が増えるのではないのでしょうか。イラストや図を作成するのは大変だと思いますが検討いただきたいです。

- 保育園の卒園式での子供たちの緊張しつつも誇らしげな表情がとても可愛かったです。

- 表紙：これからの村の未来を担う子供たちが表紙などは、とても良いことだと思います。お兄さん、お姉さんの顔で凜として座っている姿は、彼らの親でなくてもとても喜ばしく嬉しく思います。

見出し・写真・紙面構成：2、3 pの見開きに一般会計の一覧がのっていて確認しやすく、なんとなくのイメージをもって次に進むことができたが、カタカナ文字や横文字の内容がよくわからないところがあり、私のような若輩者や高齢の方のために注釈があるとありがたかったです。ex シンクライアントサーバー？

どうしても文書での説明が増えてしまうため、途中で読むことが疲れてしまいました。図解やイラスト、思い切って4コマなど親しみやすい内容だと、読む人はもっと中川村のことを理解しやすくなるのではないかと感じます。

全体的にカタいように見えてしまいます。カタい内容かもしれませんが大切なことばかり書かれてあるのもっと村民に読んでもらえるようなフランクさも必要なのではないかと思えます。

- 写真の画像が一部粗いものがあつたのでその点が気になった。その他、議員によって写真の使用枚数にバラツキがあり、枚数制限などをして、統一感があると良いと感じる。また、表紙が広報と被るのももう少し議会が身近に感じられる表紙になればとも感じる。

- 表紙について、保育園児の卒園写真を使用するのは子育て世代に興味を持ってもらうために良いと思います。

P2・3について、タイトルの「当初予算可決される！一般会計5.1%増の中規模」について何に対して「中規模」なのか良くわかりません。当初予算がこれまでと比べて中規模なのか、例年並みなのか、今一つわかりませんでした。

新規・拡充予算ピックアップの各項目は分かるのですが、新規と拡充、金額もバラバラで何の順番か分かりにくい。おそらく村予算の項目順だと思われるが金額順などの方が分かりやすい。新規、拡充の一方で廃止、縮小もあると思われるのですがその金額の大きいものや変化の大きいもののピックアップもあってよいのでは。

陳情審査、一般質問に関して 勉強不足だったのですが、陳情審査の最初に「各委員会に付託され…」とあり、各委員会の存在やどの議員が所属されているのか、村のホームページを見て初めて知りました。

一般質問の議員写真・名前欄に所属委員会の記載があると分かりやすいのでは？また、一般質問の内容についても各所属委員会からの質問なのか、議員個人由来の質問なのかもそれで分かるかと思います。

議員公約の要約について、各議員の考え方が分かるのでとても良いと思います。議員何期目なのかの情報があっても良いかも。議員になって日が浅い方から見た議会、議員活動についての感想など村民目線のコラムがあると親しみが持てて良いかも。

- 紙面構成、内容諸処わかりやすく良いと思います。ちびっ子達の表紙がなごみます。
- 今号の表紙の写真の子供たちはとても可愛いですが、議会だよりだと気付かなかった。全体的に見やすい構成だった。予算報告(4頁)は文字ばかりで読みにくかった。JAの3ヶ年計画は農業従事者にとっては死活問題だと思うので、議会で再考要請が議決されて良かったと思います。陣馬形山キャンプ場が有名になるのはとても良い事だと思うが、対策が必要だと思う。消防団についての質問が多かった。移住者なので理解し難い部分があるのが正直なところ。
- 片桐、南向の保育園の卒園式の写真が表紙になっていてかわいいと思います。どちらが片桐、南向の保育園とか卒園児の人数などがあればいいかなと思いました。今まで議会だよりをじっくりと読むことがありませんでした。モニターになり初めて詳しく読みました。自分みたいなモニターにならないと読まないみたいな方もいるかもしれないので、だれでも読みたくなる議会だよりがあってもいいかも。
- 表紙：議会だよりの表紙のテーマはなにですか？もう少し動きのある写真がいいのでは？  
見出し：各議員のページの見出しが長すぎると思う。文面にある言葉をそのまま使うのは？単的な表現で短く。  
写真：写真はもっと大きい方が、紙面が見やすい。鈴木議員のページが読みやす

かった。

○表紙：片桐保育園と南向保育園の写真クオリティ(特に解像度、鮮明さ)の違いが気になる。

掲載については、園児保護者から了解は得ているのでしょうか？

表紙写真と本議会との関連性が見えない。

レイアウト・読みやすさ：全体的に余白が少なく、各項目の違いや変化が感じにくいので読みやすいとは言い難い。編集・デザインの質によるとか強いと感じる。もっと多様な読み手を意識してほしい。「手作りの為の読み物」という印象を受ける。

質問する議員に写真はあるが、それに応える役場職員の顔もみたい。

口語をそのまま記述している為か、不完全な文書が多い。主語も不明な場合あり。

・ 4 頁 2 段「・・閲覧は税務課のシステムで。」((できる)、(可能)など付け足す)

・ 4 頁 5 段「Q・激減緩和があると聞くが。」「が。」で止めている質問分が随所(10 箇所以上)にあり、不完全な文書が気になる。(議員によって違う様子)

○紙面の色について、現在の青い色は全体的に冷たい印象を受けるような気がします。もう少し暖かい感じの色にすれば親しみやすい感じがするのではないかと思います。

写真が多く載せられており、いろいろな場面の様子が分かりやすく良いと思います。

P 4 は 1 ページの段数が多く、なんだかごみごみした感じを受けました。もう少しすっきりした書き方になるといいかと思いました。

○2019年当初予算可決の記事は大変わかりやすく編集されており良いと思います。歳出に焦点を合わせ、その中身について具体的に記載されおり中川村の予算が身近に感じました。また、写真を有効的に挿入されていることも良いと感じました。議員公約の要約も良いと思います。欲を言えば昨年 8 月の選挙後直近の議会だよりに掲載すべきだったと思います。

## 2 議会だよりに載せて欲しい情報は

○視察研修報告の内容をもっと充実させてください。これでは物見遊山の旅行に行っているような印象しか受けません。

議会公約の掲載は昨年 8 月の改選直後にすべきだったのではないのでしょうか。

それに「無投票当選になりましたので」掲載したという説明はおかしくないですか？ 今後はこの公約に基づいてどんな実績を残したか定期的に報告してほしいです。

上記に関連しますが議員一人一人の活動レポートみたいなものを 1 ページ一人ずつ掲載してほしいです。

村民の大多数は議員の皆さんが議会のない日常においてどんなことに取り組んでいるのか関心は持っていても全くよく伝わっていないのが実情です。

○各議員の議会以外での活動報告

日頃どのような活動により、より村や村民に近いものかを知れるので。

○一般質問で議論されている内容の裏付けとなっている情報について、もう少し詳細な資料が見られたらと思いました。たとえば今回ならお二人の議員から出ていた「消防団」というテーマで、全国の状況はどうか、メリット、デメリット、注目事例などを紹介する特集があると、村民としてもどのような道を選択していくかの指針にもなるように感じます。

○議会だよりについて関心を深めていただくという目的でモニターが開始されたそうですが、長年中川村に住んでいても、ごく基本的なことで知られていないことも多くあるように思います。例えば「桑原ってどこ？」というような基礎知識から、親しみやすく図解するようなコーナーを作ると面白いかなと思いました。

○リニア問題。身体障害者への村としての支援。

○陣馬形の来場者の目的別人数の変化

○議員としての意見以外に、議員の人となりが見られる Q&A などがあれば見てみたい。

村内の飲食店でお気に入りのメニューとか、最近お気に入りの一冊とか、カラオケで最近歌う楽曲など・・・

○村長さんや議員さんの1日密着とか身近に感じられるような話題

○親(お母さん、お父さん)の声、子(保・小・中・高・大)の声、村民の声がフランクなページとして意見投書などのページ

○村長の声で取り上げられた内容をこの場で再度、検証していただきたい。

編集後記とは別に、議員の村内で気になったことなどがコラム形式であっても良いのではないかと感じる。

○新しくできた「おためしシェアオフィス」は、その後どんな人たちにどんな活用をされているのか。

移住促進事業は今までどんな物があり、どんな成果があったか。

○発癌性の危険薬品としてアメリカで訴訟問題になり、今や世界中の国々で発売禁止の流れになっているグリホサートを主成分とする「ラウンドアップ」などの除草剤に関するニュースが日本ではほとんど報道されなく、相変わらずいろんな店頭で堂々と山積みされています。この危険性にほとんどの村民が無関心のように非常に心配です。議会だよりのみならず、行政の発行するメディアに少しずつでも掲載して皆様に問題意識を持っていただかないと近い内に日本の農業は終わってしまうと思います。農薬使用のデータを見ると各国の中で日本がダントツに大量の農薬を使用している事にショックを覚えています。今や中国産の農作物の悪口なんて言えませんよ！

○P5のJAへの意見書はとても良いと思う。その後のJAの動きや結果を知らせて欲しい。

○一般質問の質疑応答を分かりやすいものとして助ける写真が掲載されているよ

うに、裏付ける関連資料として数字やグラフがあれば見たい。

議員が普段、どのような活動、生活をしているのか知りたい。村会議員の活動を具体的に知ることにより、若い世代の議員への興味、立候補、活性化にも繋がるのではないかと感じる。

視察研修報告に対するボリュームがもっと欲しい。研修予算の使われ方も知りたい。

議会だよりを身近に感じる為に、イラストや絵を使った優しいページを導入するなど、積極的な新しい取り組みが欲しい。

○子どもにも興味を持ってもらえるような記事があるとなおいいかなと思います。

○予算特別委員会の審査報告は審査の過程がよくわかり良いと思います。

紙面の制約があることと推測しますが、他の委員会の審査報告も載せていただくと議会の運営状況をより詳しく知ることができると思います。

一般質問の様子はエコーシティ一駒ヶ岳で中継されていますので稀に拝見します。可能であれば、次回議会の中継予定（録画放送を含む）を議会だよりに載せていただくと視聴し易くなり助かります。

### 3 議会・村に対する要望、意見等

○小さな自治体だからこそ、暮らしに寄り添ったさまざまな一般質問が出されており、「議会だより」にはとても重要なことが書かれていると改めて感じました。陳情審査の委員会を過去に傍聴しましたが、こちらについてももう少し詳細な審議の内容を村民に公開していただきたいと考えます。一般質問は村のことが中心ですが陳情審査ではそのもととなる国の方針に関わるものが多く、この議論では議員お一人おひとりの政治指針がより明確に見えるものであり、またどのような論拠で賛成あるいは反対しているのかについて、一村民として学びたいと考えます。

半の沢の盛り土移動や、桑原の産廃施設の老朽化など、詳しく知らなかった環境悪化に関する話題が多く出ていたのが衝撃的でした。命を守る基本的な環境が保全されてこそ暮らしであると考えますので、ぜひ懸念材料には村として強く改善の要請をしていただき、詳細な経過報告を望みます（要望）。

現在、子ども二人を小学校に通わせていますが、中川村では中学校でクラス替えが一度もないということを最近知りました。思春期で生徒間のトラブルも多くなる時期であり、メンバーが固定化してしまうことにとっても不安を覚えます。近隣の自治体でも、クラス替えなしだったのが2年で一度行うようになるなど方針が変わったところもあると聞いています。ちなみに私が育った東京都下の中学校は7クラスありましたが1年ごとにクラス替えがありました。ぜひ、クラス替えをお願いしたいです（要望）。

○今月号に載っている予算構成の中で疑問に感じることを書きます。

教育費の中で「給食センター事務室改修工事」に4,679万円の計上がされていま

すが、事務室の改修工事だけで、これだけの多額な金額の計上が必要なのでしょうか。議会だよりの中では、全くわからないことになっています。ピックアップに計上されているものについては、少なからず審査報告に説明記載がほしいです。最近、小・中学生の不登校及び別室登校の児童・生徒が多い気がします。各学校単体の問題にしないように、村・議会・教育現場と協力・情報交換を行うなどし、一人でも少なくなるような環境作りをしていただきたい。

- 一般質問については、村長さん宛に事前通告があるのだらうと思いますが、準備された質問に、準備された回答だけを載せていくという形には、やや物足りなさを感じます。質問に対する答えに対して、さらなる質問や提案、という部分が、より興味深く思われる点ではないかと思いました。また、質問であっても、回答であっても、村民の皆さんに村政の現状がどうなっているのか、ということを解説するという意味もあると思いますので、検討すると答えたなら、期日の見通しや数字など、具体的に分かりやすく説明を行うということも大事だと思いました。あの時一回質問して、検討すると答えたから、それぞれの問題はおしまい、ということでは進歩がないように思えます。

それぞれの議員さんの公約も載っていましたが、公約実現に沿ったジャンルでの質問も少ないように思いました。

- 10連休中にあった、アートセッション 2019 のパンフレットの地図をたどって会場に向かおうとしたが、地図を見ても会場入口が解らなかつたと県外から来た親戚に言われたので、見やすい地図を書いてほしい。

- 6月の「土砂災害防止月間」の中で、具体的な避難訓練を取り組んで欲しい。

また、それと合わせて、議会側の本部体制と議員の対応を実施してみてください。

- 長野県飯綱町議会だよりのモニターアンケート結果を頂きましたが、原本もあつた方がより理解が深まったと思う。

- 高校生の娘がいますが駅までのバスが全く使えなくて苦労しています。部活がある日は朝が早いし、テストの日など学校が半日で終わる場合はバスなどがなく送り迎えが必要なので、電車の時間に合わせてバスがあればとても便利で助かります。

- 先ず、この様なモニター制度を導入していただいたことに感謝します。

要望や意見ということですが、私は今現在感じていることをあげさせていただきたいです。

新たなファームサポート制度

今現在、村独自の援農制度として「ファームサポート」がある制度の詳細は述べるまでないと感じるが、世界で導入されている「ウーフ」に近い制度である。村内でどのくらいの受け入れ戸数があるかはわからないが、減少傾向にあると聞いている。また、それとは別に、最近は中学生の修学旅行生を受け入れる「民泊」が増加傾向にあり、この2つ組み合わせた新たなファームサポートの導入出来ないだろうか？なぜこの様な事を感じたかという、ファームサポートの制度は受



け入れ側の宿泊や食事の準備が大変であるとよく聞く。確かに、見ず知らずの方を自宅に泊めるのは、民泊をやっている小生でもすこしきんちょうかんはある。だが、この民泊制度が始まり、若い世代から年配の世代まで幅広い年齢層の受け入れ世帯ができたことと、生業として民泊をやっている方も数戸おられ、農作業は農家で宿泊は民泊をされている方へお願いし、農家さんがシルバー人材に払う時給計算に近いような金額か、村からの補助的なお金が民泊の方へあれば、お互い無理なく、受け入れができ、交流人口の増加や、農業の人材不足解消につながるのではないかと考えます。

- 望岳荘や村のパンフレットなど、外国人旅行客向けの英語表示が必要である。(東京オリンピックに向けなるべく早く)  
サウンドホールを改装し、もっと使いやすくしてほしい。(例えば外の客席の上に屋根を付け、全天候型にするなど)2階の手すりから子供が落ちそうでいつも心配。柵にネットをつけてほしいです。(至急)  
消防団を今の人数のまま維持するのは困難なので、少子化に合わせた人口減少に対する指針も考えた方が良く思う。  
陣馬形キャンプ場の客のマナーの悪さはあちこちで聞かれる。地域おこし協力隊を使ってなど、有料化して整備をきちんとしてほしい。  
飯島町などのように、Hpに空き家情報をたくさんUPするという事はできないのか？他の市町村へ流れていく移住者を何度も見たので。
- 中川村にも十数年前にコンビニができ自分も利用者の一人です。コンビニができ便利になりましたが、ゴミのポイ捨てが増えたと思います。南田島～田島へと水田の中を通る道の土手には、空カン、ペットボトル、弁当などのゴミが捨てられているのが気になります。  
JA 資材店の廃止の問題は利用者として不便だと思えます。JA さんの方へ、村・議会からも継続の要望をしていただきたいです。
- これからも情報公開を宜しくお願いします。
- もっと住民と話す場面を多くしてほしい。(個人と)  
議員がしていることを、住民に知らせて欲しい。(視察に行ったことではなく、その視察でこんな事が参考になり、村の事業をこのようにしていきたい等)
- 議会をネット中継して欲しい。(CEKに加入していない家庭も多数有り)  
公約の要約版掲載は嬉しい。次は、公約に対する進捗状況を知らせてくれると、更に注目できる！  
無投票当選に対する村議会議員の考え、議会の役割、中川村議会が向かうところ、などなど、毎回の議案以外に、テーマを広げた議会に関わる話題を知りたい。
- 今回モニターとなり、家で議会だよりを読みながらアンケートに答えていると子供たちが興味を示して寄ってきました。そしてみな口々に「議会って何?」「何してるところ?」と質問してきました。子どもにはまだ何をするとところなのかよくわからないようですが、大人の中にも具体的にどんなことをしているところな

のかわからないという人は少なからずいると思うのです。だから、こんな事をしています！という情報をこれからもどんどん発信して行って欲しいと思います。「日本で一番美しい村」の一つである中川村。これからの季節、緑が一層深くなり目にも鮮やかな景色が広がりますが、同時に道路脇の草も伸び放題となることがあり気になります。せめて国道脇だけでも草等の整備をこまめに行いきれいに保てたらいいんじゃないかと感じています。

- 今年度の「村民と議会との懇談会」がこの4月に開催されましたが、周知が聞き届いていないように思いました。議会日より115号に告知がなく、長野日報やエコーシティーの放送で周知されたのみと承知しています。「農繁期を外した」との趣旨は理解できますが、例年秋に開催していた懇談会を半年近くずらすのであれば、周到な周知が必要だったのではないのでしょうか。

議員のなり手不足に向けての議会の具体的な行動が見られません。

無投票が3回連続続いている現状を鑑みると何らかのアクションが必要なのではないのでしょうか。

#### 4 その他

- いつも村民のための議会運営を誠にありがとうございます。議会だよりは議会の窓でありいつも興味深く拝読しておりました。不勉強ではありますが、私なりの意見をお伝えできればと考えております。一年間お世話になります、どうぞよろしくお願いたします。
- 毎回、丁寧な冊子作りをありがとうございます。議会だよりモニターという新しい試みの実践をありがとうございます。モニターという立場ですので、僭越ながら、色々と書かせていただきました。これを機に私自身も議会や村政を身近に感じるにより、知らないことを知る行為を続けていきたいと感じています。